

学び考える事

大牟田支部 嶋添 直樹*

今、私は文章で誰かに何かを伝えるという事の難しさを痛感しています。今回の作文は、私が今までの人生で思う（学んだ）事を文章にしてみます。つまらないかもしれませんが、（いやだぶんつまらない）この文章を最後まで読んでいただければ幸いです。最後まで読んでくれた方にはお金では絶対に買う事ができない忍耐力という力がほんの少し得る事が出来るはずです！！（これだけは自信満々に言えます）

私は、今までいろんな遊戯をしてきました。多趣味と言えばチョットカッコイイですけど・・・友人には、飽きっぽいと馬鹿にされてはいますが。それは間違った認識です。私は、飽きるのではなく新たに興味が湧いたものをみつけるとそれに、没頭してしまう癖があるだけです。そのおかげかいろんな遊戯をする中で、いろんな事を学ぶ事ができました。

始めにインラインスケートで学んだ事を書いていきたいと思います。私は最近インラインスケートに熱中しています。インラインスケートで大事な事は重心を常に前に置く事が重要です。転倒する時も重心が前にあれば、大怪我する事が少なくなります。それは人生に置き換えてみても、同じ所があると私は感じています。インラインスケートの重心を前に＝人生に置き換えると前向きな気持ちとなるのではないか。（かなり無理があるかも）私がここで言いたいのは気持ちが前向きだからといって失敗の確率が減るとは考えてはいません。気持ちが前向きな場合、失敗の際に心に大きな怪我をするのを防ぐ事が出来ると考えます。気持ちが後ろ向きだと、失敗した事自体に押しつぶされてしまう可能性があり非常に危険です。また次、挑戦しようという気持ちにならず結局、成功さえも掴み損なう可能性もあります。失敗は成功の元って事もインラインスケートから身をもって学ぶ事が出来たと思います。



（インラインスケート）

続きましてボウリングで学んだ事を書いていきたいと思います。私はマイボール、マイシューズ、マイプロテクター、マイバックを所有しています。熱中全盛期の時期は週末で30ゲームを行っていた時期もありました。その影響からか、ある日突然手首に激痛が走り医者にみせた所、腱鞘炎と診断され、ドクターストップとなりました。ふりかえってみれば、少し手が痛くても、楽しさが先行し投げ続けたのが悪かったのでしょうか。まあ俗に言う自業自得です。要するにやり過ぎはよくないという事です。人生におきかえてみても、〇〇すぎという言葉は自分自身の容量から越えた時に出てくる言葉であってマラソンランナーが42.195km走る事にたいして皆さんは走りすぎだと思いますか？大半の方はそうは思わないはずです。しかし歩きたての子どもが走ろうとしたら走りすぎになってしまう方が大半ではないでしょうか。自分自身の容量からはみ出た〇〇すぎの部分は積もりに積もっていつか自分自身までも壊してしまう危険性があるという事を身をもって学ぶことが出来ました。しかし、人生においては1回や2回は〇〇すぎをしなければならない時が必要とも考えます。それは自分自身の容量を把握するためです。自分自身の容量を知らなければ、自分の能力を思う存分発揮する事も出来ないのではないと考えます。知らなければ大量にあふれ出た時の対処も出来ないまま、一気に自分自身を壊してしまうかもしれません。もし容量を知っていれば誰かの容量を借りるとかの事前準備もでき、自分自身が壊れる事も防ぐ事が出来ると考えます。

他にもたくさんの事を多種の遊戯の中から学ぶ事が出来、本当に嬉しく思います。みなさんの中にはこの文章をよんでインラインスケートしたいな～とかボウリングしたいな～とか悩んでいる人もいます(絶対にいると信じてます)他にもこの文章を読みながらもたくさんの悩みを抱えている方もいるでしょう。けど私は悩むという思考は人間が生まれながらに持っている前向き思考と考えます。悩みながら『ど～しよう』とか考える事事態、前に進もうとする思考の表れではないでしょうか。考え方を変えてみると悩みになるという事は解決しようとする本能的な働きを無意識で行っているんだと思います。悩みが多い人こそ実は前向きの気持ちが強いのかもしれません。そう考えれば悩んでいる事自体がすこしは楽しくなるかもしれませんね。だって少なくとも自分自身は問題から逃げてる訳ではないから、また着実に前に進んでいるのも紛れも無い事実と私はそう考えます。そう考えれば悩みのつらさも少しは楽にはなるかもしれません。だからみなさんおおいに悩みましょう。

最後たくさんの事を学べる人間という人種に生まれる事ができ今は、本当に嬉しく思います。これから長い人生いろんな経験をし、自分を磨き大きく成長できればいいなと思います。(体ではなく)最後まで読んで頂いたみなさん本当にありがとうございます。みなさんこれからの人生が幸せになる事を祈りこの文章の終わりとさせていただきます。